

投 稿 規 定

1. 本誌の目的

本誌は、公益社団法人日本理学療法士協会東北ブロック協議会(以下、東北ブロック協議会)の機関誌として、理学療法及び関連領域における実践報告と研究発表の場を提供することを主な目的とし、研究論文、症例研究、短報、その他を掲載するものです。

2. 投稿者の資格

投稿の筆頭著者は本会（日本理学療法士協会東北ブロック協議会）の会員に限ります。ただし、東北ブロック協議会理事会の決定により、会員外の著者に投稿を依頼することができます。

3. 投稿原稿の条件

他誌へ発表されたもの、または投稿中のものはご遠慮ください。

4. 利益相反

利益相反の可能性がある事項（コンサルタント料、株式所有、寄付金、特許など）がある場合は本文中に記載してください。なお、利益相反に関しては日本理学療法士学会が定める「利益相反の開示に関する基準」を遵守してください。

5. 研究倫理

ヘルシンキ宣言および厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」などの医学研究に関する指針に基づき対象者の保護には十分留意し、説明と同意などの倫理的な配慮に関する記述を必ず行ってください。

6. 原稿の採択

原稿の採否、掲載順は東北ブロック協議会学術局機関誌編集部(以下、編集部)で決定します。査読の結果、編集方針に従って、加筆、削除及び一部書き直しをお願いすることがあります。また、編集部の責任において、字句の訂正をすることがあるのであらかじめご了承ください。

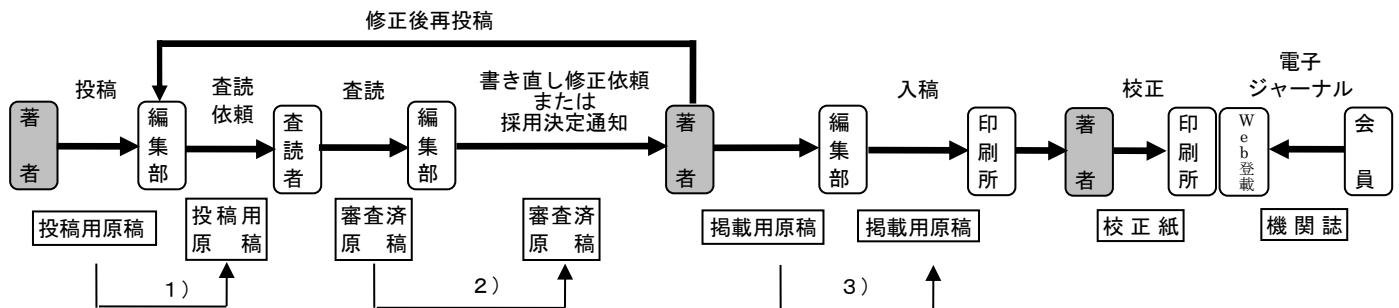
7. 校正

著者校正は原則として1回とします。校正は赤字で行ってください。

学術機関誌 執筆規定

〈投稿様式〉

下図のフローチャートに従って作業が進行します。



1. 投稿用原稿¹⁾について（上図フローチャート参照）

投稿しようとする場合は、以下に示す執筆方法に注意しながら、「投稿用原稿」を作成してください。投稿用原稿送付時には原稿のデータを E-mail で送付してください。E-mail で送付できない場合は、第 34 号担当者まで問い合わせください。

投稿された論文は公益社団法人日本理学療法士協会東北ブロック協議会(以下、東北ブロック協議会)学術局機関誌編集部(以下、編集部)を通じて 2 名の査読者に送付され、4 週間程度で第 1 回目の査読が行われます。査読を受けた原稿（審査済原稿）²⁾は、編集部にて採用、一部修正、修正、不採用を決定します。修正が必要な場合は一旦著者に返送され、書き直し修正の依頼が行われます（3 週間程度）。その後、第 2 回目の査読（1 週間程度）が行われ、必要な場合は著者に再修正の依頼を行います（1 週間程度）。第 3 回目の査読（1 週間程度）を経た結果をもとに、編集部にて最終的な採用、不採用を決定します。

2. 掲載用原稿³⁾について（上図フローチャート参照）

採用の決まった著者は、編集部宛に「掲載用原稿」を E-mail で送付してください。

〈執筆方法〉

1. 記事の種類は、研究論文、症例研究、短報、その他の編集区分を表紙の左上に明記してください。

1) 研究論文：新規性および独創性があり、明確な結論を示した論文。

2) 症例研究：症例の臨床的問題や治療効果についてそれを証明しうる客観的データを提示し、考察を行った論文。

3) 短 報：研究速報・略報として簡潔に記載された短い研究論文。

4) その 他：システムティックレビュー、症例報告、実践報告など編集委員会で掲載が適切と判断された論文および記事（なお、症例報告とは報告の新規性・希少性のポイントがどこにあるのかを文献考証を踏まえて提示し、考察を行ったもの。実践報告とは、理学療法研究、・教育・臨床等の実践の中で、新たな工夫や介入、結果等について具体的かつ客観的に情報提示し、その内容が有益と判断されたもの）

また編集部から区分変更のお願いをする場合もあります。

2. 原稿を作成する際は文書作成ソフト(Microsoft Word)を使用し、1枚につき 20 字×20 行のフォーマットを用い A4 判用紙（原稿用紙を使用する必要はありません）で作成してください。下記の規定の原稿枚数(図・表・写真の換算方法は後述します)を守ってください。

研究論文、症例研究は、図・表・写真、および文献を含んで 40枚以内としてください。

短報は、図・表・写真、及び文献を含んで24枚以内としてください。

その他は、32枚以内としてください。

論文タイトル、著者名、職名、所属、和文要旨、キーワード等は本文の字数（総ページ数）に含めないでください。本文余白（上下左右 20～30mm 程度）の下（フッタ）中央に必ずページ番号を振ってください。

3. 原稿中の英数字はすべて半角文字を、片仮名は全角文字を使用してください。

4. 表紙には、最初に和文による論文名・著者名・職名・所属名を記載してください。その次に、英文による論文名・著者名・職名・所属名の順で記載してください。

また、表紙の末尾には、表紙枚数、要旨及びKey words の枚数、本文枚数、図の枚数、表の枚数を記載してください。

5. 和文要旨は、目的、対象、方法、結果、結語を含み、これのみで論文全体の内容がわかるように記述し、400字程度に記載してください。本文とは別に、A4 判用紙1枚に作成してください。本文との書式は統一する必要はありません。

6. キーワード

1) 要旨の次に「Key words: 」と見出しをつけて記載してください。

2) キーワードはなるべく和語とし5個以内を厳守してください。各キーワード間はセミコロン（;）で区切ってください。

（例）Key words: 脳卒中；歩行；下肢装具；下腿三頭筋；床反力

3) キーワードにはできるだけ略語を用いないようにしてください。

7. 論文の構成

1) はじめに（序論、緒言）

研究の背景、臨床的意義、研究の目的、取り扱っている主題の範囲、先行研究との関連性の明示などを記述してください。

2) 対象および方法

用いた研究方法について第三者が追試できるように記述してください。倫理的配慮も記述してください。

3) 結果（成績）

研究で得られた結果を本文および図表を用いて記述してください。データは、検証、追試を行いやすいように図（グラフ）よりも表にして数値で示す方が望ましいです。

4) 考察（分析）

結果の分析・評価、今後の課題、などを記述してください。

5) 結論

研究で得られた結論を200～300字で簡潔に記述してください。

6) 利益相反

利益相反の有無について記載してください。

7) 謝辞

著者資格には該当しない研究への貢献者については謝辞に記載してください。

〈図・表について〉

1. 図表の大きさは、原則として以下の3種類とします。

2段組で書かれた本文中に割り付ける際に、どのサイズを希望するか、欄外に割り付け希望サイズ（1頁大、1/2頁大、1/4頁大）を明記してください。本文とあわせて総ページ数を超えないように注意してください。

1) 1頁大：文字数換算で1,600字程度（400字詰め原稿用紙4枚相当）

刷り上がりで1頁分のスペースを要するサイズ。

2) 1/2頁大：文字数換算で800字程度（400字詰め原稿用紙2枚相当）

刷り上がりで1頁の上半分のスペースを要するサイズ、または、横幅が1頁の横半分（左右どちらかの1段分）のスペースを要するサイズ。

3) 1/4頁大：文字数換算で400字程度（400字詰め原稿用紙1枚相当）

刷り上がりで1/2頁大のさらに半分のスペースを要するサイズで、横幅が1頁の左右のどちらか横半分以内のもの。

3. A4判用紙1枚に図表を一つずつ作成してください。また、症例等の写真を使用する場合、被写体のプライバシーを考慮し、「目隠し」が必要な場合は欄外に「要目隠し」と朱書きしてください。

4. 図表には図1, 図2, あるいは表1, 表2, のようにそれぞれ番号を付けて、必ず見出し(表題)を付け、説明文が必要な場合は図表の下に添付してください。図の見出しへは図下に、表の見出しへは表上に付けてください。

5. 原稿(本文)中にはレイアウトせず、挿入場所がわかるように、適宜、文中で触れている説明部分などに、図1や表1, あるいはカッコで囲んで（図1）や（表1）のように記述してください。

6. 図表は、各々の欄外に記載時の希望のサイズを明記し、本文とは別にして一括して原稿の末尾に添えてください。

7. 電子ジャーナル化に伴い、カラーでの掲載が可能となりました。

〈文献の記入方法について〉

1. 文献は、引用文献のみとし、必要最低限としてください。本文末尾に一括して引用順に記載し、原稿の規定枚数内としてください。

2. 本文中においては必ず引用箇所の右肩に、○○○○¹⁾、○○○○^{1) - 4)}のように肩番号を付してください。

3. 著者多数の場合には3人目以上は省略し、和文文献の場合は“○○○○、他”，欧文文献の場合は“○○○○、et al.”と書いてください。

4. 著者・訳者・編者名が英名の場合は「姓、名(イニシャル).」の形式とします。なお、訳者、編者等に関しては氏名の後に訳・編などを付けてください（欧文文献では、編者が一人の場合は(ed.)二人以上の場合は(eds.)となります）。

5. 雑誌名は公式の文献略称を用いてください。

例：総合リハビリテーション → 総合リハ

リハビリテーション医学 → リハ医学

Physical Therapy → Phys Ther

Archives of Physical Medicine and Rehabilitation → Arch Phys Med Rehabil

Scandinavian Journal of Rehabilitation Medicine → Scand J Rehab Med

6. ピリオド[.]、カンマ[，]、コロン[:]の付け方に注意してください（下記凡例参照）。

7. 通巻頁表示のある雑誌の場合は、()内の“号数”は特別の場合を除き、できるだけ省略してください。

8. ページ数は当該論文の文頭から文末までとしてください。

9. 文献記載の形式は下記の通りとし、例にしたがって誤りのないよう注意してください。

特に、発行地は外国の場合のみ記入し、発行年は西暦で書いてください。

10. 雑誌の場合は著者氏名：論文題目。雑誌名／。西暦年号；巻：頁（最初一最終）。の順に、単行本の場合は著者氏名：書名。編集者名、発行所名、発行地、西暦年号、頁。の順に書いてください。なお、単行本中の論文の場合は、書名の前に論文名を書いてください。

11. Webサイト中の記事は、分かる場合は著者氏名、Webページの題名、Webサイトの名称、入手先(URL)を書いてください。また、末尾に引用日を書いてください。

12. 電子ジャーナルの場合は著者氏名, 論文題目, 雑誌名, 西暦年号, 卷, 頁(最初-最終). 入手先, 引用日. を書いてください. DOI(Digital Object Identifier)がある場合は, 頁のあとに書いてください. 入手先は欧文文献の場合 Available from: <http://www.>・・・と書いてください. 引用日は欧文文献の場合[cited○○]と書いてください.

[文献記載凡例]

- 1) 宮本謙三, 竹林秀晃, 他: 加齢による敏捷性機能の変化過程— Ten Step Test を用いて—. 理学療法学. 2008; 35: 35-41.
- 2) Tompkins J, Bosch PR, *et al.*: Changes in functional walking distance and health-related quality of life after gastric bypass surgery. *Phys Ther.* 2008; 88: 928-935.
- 3) 信原克哉: 肩—その機能と臨床—(第3版). 医学書院, 東京, 2001, 156-168.
- 4) Kocher MS: Evaluation of the medical literature. Chap 4. In: Morrissy RT and Weinstein SL (eds): *Lovell and Winter's Pediatric Orthopaedics*. 6th ed, Lippincott Williams & Wilkins, Philadelphia, 2006, 97-112.
- 5) 名郷直樹: EBMの現状と課題, エビデンスに基づく理学療法活用と臨床思考過程の実際. 内山 靖(編), 医歯薬出版, 東京, 2008, 18-38.
- 6) 厚生労働省ホームページ 障害者白書 平成23年度版. <http://www8.cao.go.jp/shougai/whitepaper/h23hakusho/zenbun/index.html> (2011年12月19日引用)
- 7) Abood S: Quality improvement initiative in nursing homes: the ANA acts in an advisory role. *Am J Nurs.* 2002 Jun [cited 2002 Aug 12]; 102(6): [about 1 p.]. Available from: <http://www.nursingworld.org/AJN/2002/june/Wawatch.htmArticle>
- 8) Zhang M, Holman CD, *et al.*: Comorbidity and repeat admission to hospital for adverse drug reactions in older adults: retrospective cohort study. *BMJ.* 2009 Jan 7;338:a2752. doi: 10.1136/bmj.a2752. PubMed PMID:19129307; PubMed Central PMCID: PMC2615549.
- 9) Cancer-Pain.org [Internet]. New York: Association of Cancer Online Resources, Inc.; c2000-01 [updated 2002 May 16; cited 2002 Jul 9]. Available from: <http://www.cancer-pain.org/>.
- 10) American Medical Association [Internet]. Chicago: The Association; c1995-2002 [updated 2001 Aug 23; cited 2002 Aug 12]. AMA Office of Group Practice Liaison; [about 2 screens]. Available from: <http://www.amaassn.org/ama/pub/category/1736.html>

〈その他の留意事項〉

1. 原稿は、採否に関わらず原則として返却致しません。提出論文のコピーを必ず手元に保存しておいてください。
2. 著者校正は初校のみとし、校正は誤植の訂正だけにとどめてください。校正の途中で、文章や図・表を変更することは認められません。
3. 校正の途中で表題や共著者名等、目次と関わりがある部分を変更することは避けてください。やむを得ず変更する場合は編集部内の各号担当者へお知らせ願います。
4. 本誌に掲載された論文の著作権は、東北ブロック協議会に属することをご了承ください。

〈原稿送付時の注意〉

1. 投稿原稿

E-mail の件名を「第 34 号投稿用原稿在中」としてください。作成したソフト名、ファイル名を E-mail 本文中に記載してください。編集部でファイルを開くことができないときは、テキスト形式など再度提出をお願いすることあります。

2. 修正済み原稿

上記の投稿原稿と同様の方法で送付願います。

原稿を修正した場合は、送付された査読者コメント用紙と修正した点や修正しない場合はその理由を箇条書きにした文書を同封してください。この時、2人の査読者へのコメントを一つにまとめずに、それぞれ分けて文書をご準備ください。

3. 掲載原稿

上記の投稿原稿と同様の方法で送付願います。

〈第 34 号の原稿締め切り日〉

投稿用原稿の締め切りは、令和 3 年 10 月 15 日（金）とします。締め切りを過ぎた原稿は受け付けられませんのでご了承願います。

〈第 34 号の応募先・問い合わせ先〉

第 34 号に関する原稿送付及び原稿作成についての問い合わせは下記宛にお願いいたします。お間違いのないようご注意ください。

〒030-8505 青森県青森市浜館間瀬 58-1

青森県立保健大学 健康科学部 理学療法学科

(公社) 日本理学療法士協会東北ブロック協議会

学術局機関誌編集部 第 34 号担当 新岡大和

TEL : 017-765-2066

E-mail : kikanshiaomori@gmail.com